

第六十四回  
帝國議會  
貴族院

# 恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和八年三月十六日(木曜日)午前十時二十四分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○男爵淺田良逸君 昨日ノ質問ニ關聯ヲ致シマシテ、少シ述ベ足ラナカッタ點ガアリマスノハ、普通恩給年限ノ延長ニ關スル事項ニ於キマシテ、文官教育職員等ニモ二箇年デアリ、准士官以上ノ軍人ニモ二箇年デアルカラ、是ハ等シク二箇年デアル、此御考ハ先ヅ私ハ此處ニ掲ゲデアリマス文句ノ上カラ、下士以下ノ軍人ト警察、監獄職員ノ年限ヲ同一トスル爲メト云フコトニ付テ申上ゲマシタト同ジ趣旨ニ於テ、私ノ計算ニ依リマスレバ、文官ガ現在ノ法規ニ於テ十五年デアッタ、片一方ハ十一年デアッタ、等シク二年ヅツ延バシタト云フコトハ、是ハ考ヘ方ニ依ッテハ同様デアリマスケレドモ、考ヘ方ニ依ッテハ明カニ不平均トナルノデアリマス、十五分ノ二十二、即チ一年半以內ト云フノハ、是ハ正確ナル比例デアリマシテ、若シモ同一ノ比例ニ此年限ヲ延長スルト云フナラバ、左様ナ所マデ考慮ヲ拂

フ必要ガ十分ニアルノデアリマシテ、等シク二年ニシタカラ同ジデアルト云フ考ヘ方ハ、私ハソレハ當ヲ得テ居ラヌト思フノデアリマス、ソレダケヲ前置キマシテ、ソレカラマダ私ノ今迄申上ゲタコトヲ、最後ニ要約イタシマシテ質問ノ箇條ヲ申上ゲマス、モウ既ニ數箇條ニ互ッテ居ルノデゴザイマスガ、最後ニ申上ゲマス、此考ヘハ一時恩給及一時扶助料ニ付テ最短ノ年限ヲ置ク爲ニ、色ミト御改正ニナッタモ同ジ趣旨デアッテ、以上私ノ申上ゲテ居リマスコトハ、詰リ軍人ノ恩給ニ對シテ特異性ヲ御認メニナルト云フ根本趣旨カラ考ヘテ、其通りニナッテ居ラナイ、或ハソレニ却ッテ背反スルモノガアルトノ例證ヲ申上ゲテ居ル譯ナノデアリマス、次ニ個人ノ納金ノ新設ト増加ノ問題、是ハ大正十二年ノ改正ニ於キマシテ、陸軍當局ハ矢張り依然トシテ、改正ヲシタニ拘ラズ依然トシテ軍人ノ方カラハ納金ヲシテ居ラスノデアル、其理由ガ斯クノデアルト云フコトヲ御説明ニナッタコトモアルヤウニ思フノデアリマスガ、若シ果シテサウデアラナラバ、今日ニ及ンデ納金制

度ヲ設ケルニ付テ、如何ナル根據ノ下ニ斯様ナ變更ヲ見タノデアルカラ伺ヒタイノデアリマス、又此第二項、政府カラ御出シナリマシタ只今ノ條項第二項ニ於キマシテ、各個人ニ付キ昇給ノアリタル時ヨリト書イテ居リマスガ、之ニ依リマスレバ樞密院顧問官ノヤウナ方ミハ、結局何時迄モ納メルコトガナイノデアリマセウカ、伍長ニ任官ヲシ軍曹ニ任官スルニ從ッテ是ハ出サネバナリマセヌ、サウスルト云フト大物ヲ通シテ小サイ官吏デモ昇給スレバ直ニ納入スルト云フ矛盾ガ明カニアルト思フノデアリマス、其次ギ、是ハ先般御願ヲ致シマシテ頂戴致シタ所ノ、此豫テ請願ガアリ、陳情ノ申出ガアルト云ッタヤウナモノノ中デ、大切ナコトハ大體ニ於テ御直シニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其中ニ於キマシテ漏レテ居ルモノノ中重大ナルモノハ、是ハ何ト申シテモ審議會ニ於テ可決ヲ致シ、答申案トナッテ現ハレテ居リマス所ノ、所謂第一款症、第二款症ニ關スル問題デアリマス、其内容ヲ見マスルト云フト、見方ニ依リマスレバ現在ノ増加恩給ノ所デ區切ヲ付ケテモ宜イカモ

知レマセヌケレドモ、又見方ニ依リマスレバセメテハ第一款症、第二款症ノ所迄ハ之ヲ増加恩給ニ繰上ゲルト云フコトモ立派ニ成立ツ論デアルト思フノデアリマス、左様ニ有力ナル論デアレバコソ、審議會ニ於キマシテハ之ヲ採擇セラレテ解決ヲ政府ニ求メタモノデアラウト思フノデアリマス、如何ニモ氣ノ毒ナル狀態ニアリマス、之ヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、茲ニ於キマシテ最近ニモ頻々トシテ是等ノ陳情ガ參ッテ居ルノデアリマス、別ニ陳情ガ參ッタカラト云フ譯デモアリマセヌケレドモ、是ハ私ハ豫ネテ政府委員ノ御説明ヲ承ハリマシテモ、又速記録等ヲ拜見ヲ致シテモ、相當同情アル御考慮ニ向ヒツアルト思フノデアリマスルカラ、思切ッテ此際ニ是等ハ増加恩給ノ中ニ組入レテ、茲ニ他日ニ斯様ナ問題ヲ殘スコトノナイヤウニシテハ如何カト云フコトヲ考ヘテ、之ヲ御伺ヒスルノデアリマス、其次ハ、是モ澤山請願ガ出テ居ルノデゴザイマスガ、大正十二年ノ恩給法實施前ニ死亡イタシマシタ戰、公務傷病者ノ寡婦デゴザイマス、兵籍ニ

第四部第一八類 恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號 昭和八年三月十六日

ハ載ッテ居リマセヌケレドモ、其實際ニ於テハ妻デアルコトハ明瞭デアル、是ハ當時ノ實情ヲ能ク御研究ニナレバ明瞭ナコトデアリマシテ、戸籍ニチャント入ッテ居ル、ケレドモ實ハ私ハ女房ガアリマス云フコトヲ、兵卒ガ軍隊デ言フノハドウモ氣ガ引ケテイカヌ、多クノ者ガソレハ無妻者デアル又年モ若イト云フヤウナ意味ニ於キマシタリシテ、若クハサウ云フコトヲハ、キリト手續ヲスルコトモ知ラナイガ故ニ、日露戦争ノ頃ニ於キマシテハ隨分本當ノ妻デアリナガラ、兵籍上ノ妻トナッテ居ラナイモノガアルノデゴザイマス、然ル所大正十二年ニナリマシテカラ、其年以後ニ於テ寡婦トナッタモノハ恩典ヲ受ケテ居ルノデアルケレドモ、其前ニ死ンダ者ニハナイ、デハ理窟カラ申セバ邇及ヲシナイト云フ原則デアルカラ御尤ノヤウデアリマスケレドモ、實情ヲ具サニ調べテ見マスト云フト、重傷患者ガ餘計死ンデ居ル、是ハ當然デ、日露戦争ノ當時ニ於テ重傷者デアル者ハ、重傷者デアルカラ早く死ヌ、早く死ンダ者ノ女房ノ方ハ金ヲ貰ハナイ、負傷ノ程度ガ輕カッタカラ長ク生キテ居ル、長ク生キテ居ッタカラ、丁度偶、大正十二年以後ニナッテ之ニ係ル、斯ウ云フ實情ニアリ

マスルモノヲ、サウ云フモノヲ矢張り御取上ゲニナラズシテ、唯邇及ノ原則ニ依ッテ多年ノ此陳情ヲ解決シナイト云フコトハ、如何ナモノデアラウカト思フノデアリマス、其次ギ、實ハ是モ各條ト申セバ各條デゴザイマスケレドモ、多年ノ懸案デゴザイマスカラシテ申上ゲタイ、現行法ノ三十五條ニアル規定デゴザイマシテ、「公務員外國鎮戍ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付一月半ヲ加算ス」ト云フ規定デゴザイマス、是ハ今回ノ改正ニ於テ直ッテ居リマセヌ、然ル所滿洲派遣ノ師團ニ於キマシテ、御承知ノ通り關東州ニ駐屯スルモノト州外ニ駐屯スルモノトゴザイマスケレドモ、等シク是ハ外國鎮戍ノ任務ヲ持ッテ出テ居ルモノデアリマス、同ジ師團ニ屬シ同ジ任務ヲ受ケテ居ルケレドモ、唯駐在地ガ違フノデアリマス、其駐在地ガ違フト云フ理由ノ下ニ此問題ガ多年解決セラレテ居リマセヌノデアリマス、私共ハドウシテモ此法令カラ研究ヲ致シ、「外國鎮戍ニ服シタルトキハ」云々ト云フコトガアル以上、明カニ外國鎮戍ニ服シテ居ル所ノ軍隊ニ對シテ、此恩典ヲ與ヘナイト云フコトハ、是ハ誠ニ不合理ナモノデアッテ、私共ガ考ヘマスルノニ、多年ノ問題ヲ此改正ニ於テ御解決ニナル、斯ウ標

榜シテ居ルノニ、是ガ拔ケテ居ルノヲ遺憾トスルモノデアリマス、而モ其四十條ヲ見マスルト「二種以上ノ加算年ヲ附セラルヘキ期間ニ對シテハ最モ利益ナルモノニ依リ其ノ一ヲ附ス」、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、サウスルト云フト關東州ニ於キマシテ是ハ一般官吏ト同ジク一年ニ對シテ半年ノ増加ガアル、又外國鎮戍ト云フ意味ニ於テハ一箇月ニ對シテ半箇月、片方ハ一箇月ニ對シテ一箇月半、此二ツガ與ヘラレ得ルノデアルカラ、當然常識ノ上カラ言ッテモ外國鎮戍ノ軍隊トシテ、例ヘバ旅順大連ニ居ッテ何カ事有ル場合ニハ何時デモ直ニ馳セ參ズルコトハ、彼ノ郭松齡事件ヲ見テモ、又青島事件ヲ見テモ明瞭デアッテ、明カニ是ハ任務ヲ遂行シツツアル其軍隊ニ對シテ、アノヤウナ取扱ヲシテ居ルト云フコトハ、ドウシテモ改正ヲセネバナラヌノニ、今回改ッテ居ラスノハ甚ダ遺憾ト思フノデアリマス、……只今國務大臣モオ出ニナリマシタノデ、他ノ方モ色ミト御質問ガアルト思ヒマスカラ、私ハ質問ノ簡條ヲ玆デ要約シテ簡單ニ申上ゲテ終リタイト思フノデゴザイマス、第一ハ下士官以下ノ軍人ガ其普通恩給ノ年限ニ於キマシテ、警察官ト同等ニスルト云フ觀念ヲ改メ、モット

短縮ナサルト云フ御考ヘガナイカ、第二ハ武官ト文官ト共ニ二年間延長シタト云フコトハ、比例ニ顧ミテ失當デアル、デアルカラシテ同一ノ比例ニナル如ク改ムルノ考ヘハナイカ、第三、本案ニ依ッテ審議會ノ答申案ヲ採擇セラレ、傷病年金ノ第一款第二款ニ屬スルモノヲ増加恩給ニ繰上グルノ考ヘハナイカ、其次ハ公務ニ基因ヲ死亡シタ者、又増加恩給ヲ受ケテ居ッタ者ノ遺族ガナクナッタ、就中此遺族ノ扶助料ニナルト低減出來ルノデアルカラ、之ヲ見テヤ、タコトハ至極結構デアルケレドモ、額ハ甚ダ不十分デアルカラ、増額スルノ意圖ナキヤ、次ハ恩給受給者ノ年齢ニ依ル所ノ停止ニ於テ、内容ヲ調べレバ、此制限ニ係ル大部分ト云フモノハ下級軍人デアリマス、是ハモット緩和スル必要ノアルコトヲ縷述イタシマシタカラシテ、ソレニ對スル御考ヘ如何、其次ハ恩給ノ融通ニ關シテ本案ニ挿入スルコトガ出來レバ結構デアルケレドモ、出來ナイトスレバ之ニ關聯シ、或ハ何等カノ方法ヲ以テ同時ニ解決シテ欲シイノデアルガ、ソレハ出來ナイコトデアラウカ、其次ハ個人ノ納金方法ニ付テハ不備ノ點ガアル、改正ノ要ナキヤ、其次ハ準士官退職ノ際ノ規定ヲ改メ、二年間在職

シナケレバ高等官八等ノ恩給ガヤレナイト新ニ規定ヲ定メ、從來ハ最高ノ恩給デサヘアレバ其二年ハ必要トシナカッタ、斯ノ如ク惡イ方ニ改メタノデアルカラシテ、之ヲ撤回スルノ考ハナイカ、關東州ニ駐屯駐在スル所ノ滿洲駐劄師團ノ一部ニ、外國鎮戍ニ服シタルモノトシテ當然與フベキ恩典ヲ今マデ適用シテ居ラスガ、之ニ付テ改ムルノ考ヘガアルカナイカ、屯田兵ノ豫備隊ニ望ノ年數ヲ恩給年限ニ加算スルノ必要ト、其理由ニ付テハ一昨日モ申述べタ外ニ、更ニ私ハ色ミノ資料ヲ手ニ入レテ居リマスノデ、之ヲ此際解決スル御考ハナイカ、其十箇條ノ外ニ大キナ問題ト致シ、恩給法ニ於テ軍人ノ特異性ヲ政府、首相、政府委員、悉ク是認ヲシテ下サツタ以上、此趣旨ヲ更ニ徹底的ニスルノ必要ガアルト考ヘル、是ハ各條項ニ互テ居リマスノデ、之ニ關スル御考ハ如何デアアルカ、ソレカラ大キナ問題ノ二ト致シテ恩給ノ法規ヲ改訂ヲスルニ當リマシテ、私ハ軍部當局ノ御言葉カラ察スルニ、何カ豫算ヲ割當テラレテ其中デ賄ハナケレバナラスカラ、支給スベキ苦ノ程度ハ低イケレドモ支給シテ欲シイト云フコトガ漏レテ居ルヤノ如キ感ジガ致シマシタ、果シテ左様ナモノデアアルカ、サウデ

ナクテ恩給法ハ斯ウ云フモノニハ恩給ヲヤラナケレバナラスト云フコトヲ特ニ考ヘテ、ソレヲ本トシテ自然ニ金ガ極テ來ルノカ、初メカラ是デ賄ヘト云フテ其中デ辻褁ヲ合ハセルカラ、欲シイモノモヤレナイト云フコトニナルノデアアルカ、此點ニ對スル御所見ヲ判明ニシタイノデアリマス、後デ御答ヲ伺テ宜シウゴザイマス

○森平兵衛君 國務大臣ノ大藏大臣ガ御臨席ニナリマシタノデ、大臣ニ二點バカリ御

教示ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、今回御提案ニナリマシタ恩法ノ改正ハ隨分久シク問題ニナッテ居リマシタガ、今日マデ之ヲ實施スルコトノ出來ナカッタノハ色ミノ原因モアルト思ヒマスルガ、要スルニ歷代ノ政府ガ之ヲ實行スル努力ノ足ラナカッタノモ

原因ノ一ツデアリ、又政變ノ變動ノ激シイ爲ニ慎重ニ調査研究スル暇ガナカッタト云フコトモ一ツノ理由デモアリマセウ、且ツ此政變ノ激シイ爲ニ官吏ノ任免黜陟ガ多カッタト云フコトガ、此文官ノ恩給ノ著シク増加シタト云フコトノ原因デアルト云フコトハ政府委員ノ説明ナリ、又此表ニ依ッテモ明カナモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ此内閣ニ於キマシテハ大英斷ヲ以テ之ヲ改正セラレ、國家財政ニ及ボス影響ヲ緩

和シテ、國家ノ負擔ノ増加ヲ防止シ、幾ラ

カ緩和サレルト云フコトノ趣旨ハ我ミモ諒トスルノデアリマスルガ、時局ガ非常ニ重大ナ時デアリマシテ、殊ニ滿洲問題或ハ國際聯盟其他内憂外患ノ時デアリ、殊ニ刻下民心ノ緊張ヲ要スル時期ニ於テ、斯ウ云フ恩給法ノ改正ヲナサルト云フコトガ、私ダケノ考デアリマスガ、甚ダ時期ガ宜シクナイヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、其理由

ノ一ツト致シマシテハ只今國防ノ第一線ニアル所ノ滿洲ニ派遣セラレテ居ル所ノ軍人諸君ニ對シ士氣ヲ鼓舞シテ、後顧ノ憂ヘナク國家ノ爲ニ忠勤ヲ勵ンデ居ラレル時ニ於テ、サウ云フコトハ念頭ニアリマスマイガ、自分等ノ恩給法ニ付テ斯ノ如キ改正ガアル、或ハ又年金ガ殖エルトカ、納金ガ殖エルト云フコトガ、多少デモ向フノ耳ニ入ッテ居ル場合ニハドウデアアルカ、又内ハ文官ニ於キマシテモ高等官ノ何等以上カハ、或程度ハ減俸セラレテ居リマスシ、此時局ニ善處スル爲ニハ、懸命ノ努力ヲ捧ゲテ國家ニ御奉公シテ居ラレル時ニ於テ、矢張り此恩給法ノ改正ガ減俸ニ等シキコトノ結果ニナルト云フコトハ、甚ダ私ハ時期ヲ得タモノデナイヤウニ思フノデアリマス、又モ一ツハ、此改正案ハ衆議院ノ希望決議ニモアリマス通り頗ル微

溫的デアリマシテ、先ヅ我ミ共ノ考デハ、

根本ニ行政財政ノ整理ヲシテ、マア例ヘテ申上ゲマスレバ、各省ノ併合トカ、局課ノ統制トカ、或ハ府縣廳ノ廢止、合併ト云フヤウナコト、總テ行政財政ノ整理ヲスルヤウナ所ガ澤山ニアルノデアアル、ソレヲ其儘ニ置イテ置カレテ、唯此恩給法バカリ改正セラレル、整理セラレルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、斯ウ考ヘマスノデ、私ハ政府ニ於テハ一先ヅ此案ヲ御撤回ナサル

ト云フ御意思ガナイモノデアアルカ、或ハ又政府ノ面目上撤回スルコトガ出來ヌト云フコトデアリマスレバ、強ヒテ之ヲ通過セシメルト云フコトニ御努力ニナラナクテ、委員會ノ自然ノ推移ニ御放任ナサツテ御置キニナッテモ宜カラウカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、此點ニ對シテ大藏大臣ノ御教示ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 唯今ノ御尋ネ

ハ、私ノ御答デハ不十分デアアルカモ知レマセヌ、私ノ承知シテ居ル所デハ、此度ノ恩給法ノ改正ハ、年來數年ノ間問題ニナッテ居ッタ、懸案ニナッテ居ッタ、ソレハドウ云フ譯カト云フト、此儘デ行キマスと云フト、段々恩給ノ爲ニ歳出ガ殖エル一方、非常ナモノニナル、御承知デモアリマセウ

ガ、時々恩給亡國論ナント云フモ世間デハ言フモノガ出タ位デアリマス、久シク懸案デアッタ、其間始終調査ラシテ居テ、サウシテ此度此懸案ヲ解決スル、懸案デアッタモノヲ解決スル案ガ出来タ、故ニ其目的ハ益年ヲ經ルニ從テ恩給ノ負擔ガ、恩給金ノ負擔ガ殖エル、是デハイカヌカラ、之ヲ或程度マデニ抑ヘナケレバナラヌト云フノガ根本ノ趣旨デアリマス、漸クハ數年後ニハモウ殖エナイヤウニズツ行クト云フヤウナ案ガ立ツタノデ、出シタノダト云フコトハ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ其目的ヲ達スル爲ニ、ドウ云フ風ニ改正ニナツタカ、ドウ云フコトヲ新タニ設ケタカト云フコトハ、是ハ恩給局ノ調査ニ依ッテヤッタノデアリマスカラ、既ニ政府委員カラ十分ナ御答ガ出来テ居ルコト考ヘマスガ、併シ今ノ御尋ネノ此恩給法ノ今日出ス時期デナイト云フ意味ヲ以テ、政府デ出シタモノヲ、此際通過ヲ圖ラズニ、寧ロ委員會デ其儘ニ葬ラシテ置ク方ガ宜イノデハナイカ、其考ヘハドウカト云フ御尋ネデアリマス、是ハ寧ロ總理大臣ニ御尋ネニナツテ下サラヌト、私一個ノ考ヘデハ、苟モ政府ガ案トシテ議會ニ出シタ以上ハ、此通過ニ努メルノハ當然ドラウト思ヒマス、

又其努メヲセズ、議會ニ持出スト云フコトハ是ハ議會ニ對シテ相濟マヌ次第デアルト、斯ウ考ヘル

斯ウ考ヘマスノデ、政府ノ御意思ヲ御尋ネシタヤウナ譯デアリマス、勿論此議會ニ御提出ニナルニ付テハ、相當ノ順序ヲ經テ御出シニナツテ居ルト思ヒマスカラ、一朝一夕ニ之ヲ撤回ナサルト云フ御意思ノナイコトモ明瞭デアリマスガ、時期ガ宜クナイノデハナイカト云フ點カラ御教示ヲ仰イダ次第デアリマス、併シ政府ニ於テモ、總理大臣ニ御尋ネ致シマシテモ、今更之ヲ撤回ナサルト云フコトハ萬々ナサルマイト思ヒマスガ、私等ノ考ヘデハ非常ニ時期ガ宜シクナイト云フ點カラ御伺ヲシタヤウナ譯デアリマス、モウ一點ハ過日此恩給法ノ委員會ニ於テ、總理大臣ガ御答辯ニナツテ居ルコトニ依ッテ御質問ヲシタイト思フコトガ一點アルノデアリマスガ、只今大藏大臣ノ御答ヘニ依リマス、少シ私ハ前ノ總理大臣ノ御質問ヲ、大藏大臣ニ又之ニ御質疑致スト云フコトハドウカト考ヘマスカラ、モウ一點ノ御質問ハ差控ヘルコトニ致シマス、ソレカラモウ一ツ大藏大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマスガ、都合ニ依リマシテハ他ノ政府委員カラ御答ヘ下サイマシテモ結構デアリマス、今回ノ恩給法ノ改正ガ現在官吏ノ既得權ヲ私ハ奪フヤウナコトニナリハシナイカ、此根本ヲ御尋ネスルノデアリマス、私

共ハ法律ノコトハ詳シクナイノデアリマスガ、現在ノ官吏ガ既ニ現行法ニ依ッテ、文官ハ十五年、武官ハ十年ト云フヤウナ定マリガアル、假ニ昭和八年ノ十月ナラ十月ニナレバ、恩給法ニ依ッテ恩給ヲ受ケラレルト云フノガ、昭和八年ノ此議會ニ通過イタシマシテ、假ニ本年ノ五月ニ之ガ實行ニナルト云フ場合ニナルト、二年ノ延長ノ爲ニ本年ノ十月ニハ恩給ヲ貰フ人ガ貰ヘナイト云フコトニナツテ、官吏ノ既得權ヲ奪フト云フヤウナコトニ付テハドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、又モウ一點ハ、今日恩給デ生活ヲシテ居ル人ガ、矢張り是ノ納金額トカ色色ナコトデ減少ニナル爲ニ、其生活ヲ脅カサレルト云フヤウナコトニハナリハシナイカ、サウスルト其人ノ既得權ヲ幾ラカ侵害シタト云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、此點ニ付テノ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) チョット御諮リ致シマスガ、高橋大藏大臣ニデカニ御質問ニナル方ハゴザイマセヌカ……

○政府委員(黒崎定三君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、今度ノ改正案ハ恩給ノ在職年限ヲ延長イタシマスル結果、現行法デ認めテ居リマスル下ニ在職イタシテ居リマス

又森平兵衛君 實ハソレガ爲ニ總理大臣ノ御出席ヲ要求シタノデアリマスルガ、政府ノ御都合ノ爲ニ御臨席ガナカッタ爲ニ、甚ダ御門達ヒカ分リマセヌガ、國務大臣ノ大藏大臣ニ御伺ヒシタヤウナ譯デアリマス、只今御答辯ノ中ニモアル通り、今回ノ改正案ハ年々恩給ガ増加スル、其國家ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ、數年ノ懸案ヲ今日實行スルヤウニナツタノデアルト云フコトハ、政府委員ノ御説明ニ依ッテモ能ク了解シテ居ルノデアリマス、併シ其恩給ガ増スト云フコトガ決シテ……年々金高デハ殖エテ居リマスガ、他ニ原因ガアル、要スルニ文官ノ任免ニ黜陟ト云フコトノ多イ爲ニ、恩給ガ著シク増加シテ居ルト云フコトハ、武官ト文官ノ表ニ依ッテモ明カデアル、サウスルト其本ヲ正サズシテ唯恩給ノ増加ヲ防グト云フコトノ爲ニ、恩給法ヲ改正ナサルト云フコトノ趣旨ハ、趣旨ハ同ジコトデモ、其根本ヲ清メズシテ末ヲ清メテオイデニナルヤウナ我々ハ感ガスルノデアリマスガ、ケレドモ矢張り其方ノコトヲ御整理ニナツテ、初メテ改正スベキガ當然デアルト、

斯ウ考ヘマスノデ、政府ノ御意思ヲ御尋ネシタヤウナ譯デアリマス、勿論此議會ニ御提出ニナルニ付テハ、相當ノ順序ヲ經テ御出シニナツテ居ルト思ヒマスカラ、一朝一夕ニ之ヲ撤回ナサルト云フ御意思ノナイコトモ明瞭デアリマスガ、時期ガ宜クナイノデハナイカト云フ點カラ御教示ヲ仰イダ次第デアリマス、併シ政府ニ於テモ、總理大臣ニ御尋ネ致シマシテモ、今更之ヲ撤回ナサルト云フコトハ萬々ナサルマイト思ヒマスガ、私等ノ考ヘデハ非常ニ時期ガ宜シクナイト云フ點カラ御伺ヲシタヤウナ譯デアリマス、モウ一點ハ過日此恩給法ノ委員會ニ於テ、總理大臣ガ御答辯ニナツテ居ルコトニ依ッテ御質問ヲシタイト思フコトガ一點アルノデアリマスガ、只今大藏大臣ノ御答ヘニ依リマス、少シ私ハ前ノ總理大臣ノ御質問ヲ、大藏大臣ニ又之ニ御質疑致スト云フコトハドウカト考ヘマスカラ、モウ一點ノ御質問ハ差控ヘルコトニ致シマス、ソレカラモウ一ツ大藏大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマスガ、都合ニ依リマシテハ他ノ政府委員カラ御答ヘ下サイマシテモ結構デアリマス、今回ノ恩給法ノ改正ガ現在官吏ノ既得權ヲ私ハ奪フヤウナコトニナリハシナイカ、此根本ヲ御尋ネスルノデアリマス、私

共ハ法律ノコトハ詳シクナイノデアリマスガ、現在ノ官吏ガ既ニ現行法ニ依ッテ、文官ハ十五年、武官ハ十年ト云フヤウナ定マリガアル、假ニ昭和八年ノ十月ナラ十月ニナレバ、恩給法ニ依ッテ恩給ヲ受ケラレルト云フノガ、昭和八年ノ此議會ニ通過イタシマシテ、假ニ本年ノ五月ニ之ガ實行ニナルト云フ場合ニナルト、二年ノ延長ノ爲ニ本年ノ十月ニハ恩給ヲ貰フ人ガ貰ヘナイト云フコトニナツテ、官吏ノ既得權ヲ奪フト云フヤウナコトニ付テハドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、又モウ一點ハ、今日恩給デ生活ヲシテ居ル人ガ、矢張り是ノ納金額トカ色色ナコトデ減少ニナル爲ニ、其生活ヲ脅カサレルト云フヤウナコトニハナリハシナイカ、サウスルト其人ノ既得權ヲ幾ラカ侵害シタト云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、此點ニ付テノ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) チョット御諮リ致シマスガ、高橋大藏大臣ニデカニ御質問ニナル方ハゴザイマセヌカ……

○政府委員(黒崎定三君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、今度ノ改正案ハ恩給ノ在職年限ヲ延長イタシマスル結果、現行法デ認めテ居リマスル下ニ在職イタシテ居リマス

ル官吏ニ付テ、既得權ヲ侵害スルコトハナ

ガ、本法ノ改正法施行後ニ退官ヲ致シマシ

矢張り其官吏ニナリタ時ニ於テ此法案ガア

クハナイカト思ヒマス

イカ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ承ハリマシ

テ、而シテ十七年ニナラズシテ退官イタシ

レバ、文官ハ十五年ナラ十五年デ恩給ガ貰

○政府委員(黒崎定三君) 唯今ノ御話御尤

タノデアリマス、既得權トマア申シマシテ

タヤウナ場合ニドウナルカト申シマスル

ヘルト云フコトノ趣旨デ官吏ニナリテ居ル、

モデゴザイマス、若シ出来マスルコトナラ

宜シイコトデアリマスガ、兎ニ角希望、寧

ト、其點ハ此改正法ノ附則ニ於キマシテ十

此恩給法改正以後官吏ニナル者ハ文官ハ十

バサウ云フ御話ノヤウナ趣旨ヲ執ルコトガ

口適切ニ申シマスレバ希望權トデモ、權ト

五年ニ既ニ、本法施行ノ際ニ從前ノ規定ニ

ヤリテ居リマス、其考ヘ方ヲ此法律ノ一點デ

望マシイコトトハ存ジマス、併ナガラ一方

云フ字ヲ使ヒマスルコトガ果シテ是モ適切

依リマシテ普通恩給ニ付テノ最短恩給年限

御改正ニナリテ、其希望權ト申シマスガ、既

文官デアリマスレバ、十五年經テバ恩給ヲ

デアルカドウガ疑問デアリマスガ、現在十

ニ達シテ居ルモノニ付キマシテハ、其モノノ

得權ノ侵害ト云フコト語弊ガアリマスガ、其

給與スルコトニナリテ居リマスガ、併シ十五

五年若クハ十一年デ恩給給與ヲ致シマスル

本法施行後此改正規定ニ依ル最短期間、即

希望ヲ失ハスト云フコトニナリテハ、官吏ニ

年經テバ必ズ……十五年目ニハ必ズ罷メ

ト云フ法制ニナリテ居リマスルノヲ、幾分二

年限ニ達セズシテ退職イタシマシタ場合デ

付テノ精神的ノ、何ト申シマスガ、影響ガ隨

モノトハ實ハ限リテ居ルモノデハナイノデ

年若クハ一年ノ延長ノ結果、ソレダケ不利

モ、ソレハ矢張り退職前ノ俸給ニ依リマシ

分大ナルモノガアリハセヌカ、總テノ者

アリマスカラ、十五年經テ罷メテモ罷メナ

益ニナリマスルコトハ、現在ノ制度ニ比ベ

テ普通恩給ヲ給スルコトニ致シテ居ルノデ

ガ……醫者ナラ醫者、其他ノ特別ノ者デモ自

クテモ、十五年經テバ恩給ヲアルノダト云

マシテハ制度デ恩給ヲ貰ヘルト云フ希望ガ

アリマス、唯其恩給金額ノ算出ノ方法ニ付キ

分一代ナラ一代ト云フモノガ、ソレダケノ

フ趣旨デゴザイマセヌカラ、實際ノ結果

其差ダケ不利益ニナルト云フコトハ是ハ事

マシテハ、其不足額ガ一年ニ付テ退職前ノ

權利ヲ持テ居ルノデアル、獨リ此恩給法

カラ見マスルト是ハ今後ノコトデアリマス

實デゴザイマス、唯是ガ普通既得權ト申シマ

モ……恩給ト云フコトノ見方ハ俸給ノ延長ニ

モ見テ居ラレルシ、或ハ又官吏ヲ勤メテ居

カラ、豫測デハゴザイマスルガ、十五年モ

スル既得權ヲ侵害シナイト云フ、成ルベク

モ見テ居ラレルシ、或ハ又官吏ヲ勤メテ居

間近ニ來テ居リマスル者ハ殆ド特別ナルコ

トデナイ限リハ、矢張り今度ノ恩給法改正

侵害シナイヤウニシテ行ク方策ヲ採ルト云

タ時ノ報酬ト言ヒ、或ハ賞與ト言ヒ、ドウ

デモ見ラレマスケレドモ、必ズ恩給ヲ貰フ

ガアリマシテモ、此改正恩給法ノ最低年限

ヲ方面カラ見マシテ、何處マデ適用ヲ致シ

人ハ何年經テバ是ダケ貰ヘル、後顧ノ憂ヘ

ナク行ケルト云フコトハ精神上半面ニ於テ

ハ少クトモ在職スルヤウナ結果ニナリハセ

マスル既得權ノ部類ニ入ルカドウカト云フ

ソレデアリマスルカラ此規定ニ該當イタシ

ヌカ、斯ウ推測イタシテ居リマス、ソレカ

ラ全部現行制度ニ於テ十五年トナリテ居リ

ニハ、私達ソコニハ考ヘ方ヲ違ヘテ居リマ

マスル者ハ假令本法施行後、改正法ノ最短期

限ニ達シマセズトモ、從前ノ規定ニ依ル最

マスカラ、若クハ十一年トナリテ居リマスル

ス、是ハ既得權トハ考ヘテ居ラナイノデア

短年限ニ達シテ居リマスル者ニハ恩給ハ給

リ既得權カ或ハ希望權ト云フモノヲ尊重シ

カラ、其現在現行法ノ下ニ於テ就職イタシ

リマス、寧ロ希望權ト、權ト云フ字ヲ使ヒ

與スル趣旨ニ致シテ居リマス

テ、今日マデ官吏タル者、軍人タル者ニ對

マシタ方面ニ付テハ、其改正恩給法ノ唯今

ラウカト考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ文

官十五年ガ十七年ニ延ビマシタ結果、恩給

シテハ之ヲ適用セヌ、新ラシク今日以後デ

ノ點ニ關スル限リハ適用シナイデ、全部改

法施行當時迄ニ、幸ヒ通過イタシマシテ施

得權ト申シマスガ、希望權ト申シマスルカ、

用スルト云フコトニハ、キリナサル方ガ宜

正法施行後就職イタシマシタ者カラ適用ス

行セラレル迄ニ十五年ニ達シマスルモノ

得權ト申シマスガ、希望權ト申シマスルカ、

用スルト云フコトニハ、キリナサル方ガ宜

正法施行後就職イタシマシタ者カラ適用ス

ルトナリマスルト、恩給法改正ノ趣旨が、即ち趣旨ノ效果ガソレダケ、今後十七年……此改正法ノ何ニ依リマス、其改正ノ效果ハ本法改正法施行後十七年目カラ效果ガ出ダシテ來ル、普通年金ニ付キマシテ……サウ云フ結果デアリマスカラ、一方恩給ノ増加ニ付キマシテ、何トカ是ハ處置ヲ致シタイト云フ考ヘカラ致シマスルト、先ヅ今日ノ所此改正案ニ依リマスルヤウナ趣旨ノ延長ヲヤリマスレバ、理論上今ノ希望ヲ殺ガレルト云フ憾ミハアリマスルケレドモ、實際恩給ノ給與ヲ致シマスルト云フ關係ニ於キマシテハ、在職年ノ關係デハ甚シキ不利益ナ結果ハ招來スルモノデハナイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 年限ノコトニ付キマシテハ此以上質問ヲ中上ゲマセヌガ、矢張り延長ト同時ニ、基礎恩給ノ變更ト云フコトニナツテ、金高ガ減ジラレル譯ニナツテ居ル、其コトニ付テ矢張り一應ノソレト同様ナ意味ノ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(黒崎定三君) 御答ヘ致シマス、成程此恩給年額算出ノ基礎係給ヲ取リマスル點ガ、現行制度ト改正法ト違フテ居リマス、ソレカラモウ一ツ、率ガ百五十分ノ二ダケ違フテ來テ居リマスカラ、ソレダケ

不利益ニナリマスデスカラ、基礎係給ガ現在ハ退職當時ノ俸給ト異ナテ居リマシテ、休職期ニ因ル退職デアリマスレバ、休職當時ノ俸給ガ最高俸給ト見マシテ恩給年額ヲ計算イタシテ居リマスル分ガ、今度ノ改正案デハ其點ガ多少違ヒマシタカラ、是ハ御説ノ通り不利益ニナリマスガ、唯望マシイコトヲ申シマスレバ、固ヨリ此不利益ハ……現在在職シテ居ル者ハ斯ウ云フ希望ヲ以テ在職シテ居ルノデアリマスカラ、不利益ヲ及ボサナイコトガ望マシイコトトハ私共モ考ヘテ居ルノデアリマスルケレドモ、唯此程度ノ關係ニ付キマシテハ、此程度ナラバ、一方恩給ノ年々ノ漸増ト云フモノヲ、甚シキ無理ナクシテ緩和シテ行キタイト云フ趣旨カラ云フト、マア我慢シテ貰ヘル規定デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森平兵衛君 只今政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ、矢張り年限ノ延長ト、片一方ハ基礎係給ノ算定ニ依リマシテ、矢張り一面カラ見レバ、既得權ト申シマスガ、希望權ヲ侵害シタト云フコトニモ見エルノデアリマス、政府ハ唯其恩給ノ増額ヲ緩和シヤウ、或程度マデ制限シヤウト云フ爲ニ、非常ナ御無理ヲナサタト云フコトハ、私ハ明

カデアラウト思フ、此以上ハ此二點ニ付テハ追窮ヲ申上ゲマセヌ、續イテモウ一點伺ヒタイノハ、多額恩給者ノ一時停止デ、二割ヲ停止スルト云フコトデアリマスルガ、是モ政府ノ説明ニ依リマスルト、二割ノ停止ノ金額ハ二十五萬圓デアルト云フコトガ説明ニ加ヘテアルヤウデアリマスルガ、私ハ斯ノ如キコトハ非常ナ不徹底ナコトデハナイカト思フノデアリマス、只今參考書トシテ御送りニナリマシタ中デ、佛蘭西トカ或ハ獨逸、英國アタリニハ書イデアリマセヌガ、何處カノ歐羅巴ノ國デアッタカト思フノデアリマスガ、相當多額ノ恩給ヲ貰ヘル者ガ、公共團體ノ吏員ニナルトカ、或ハ會社ノ重役ニナルト云フヤウナコトデ、相當ノ收入ガアッタ場合ニハ、其恩給ノ全部ヲ一時停止スルト云フヤウナ國モアッタコトヲ私ハ聞知スルノデアリマスルガ、若シサウ云フコトデアレバ、私ハ此恩給外ノ所得ガ年額五千圓以上ト云フコトガ適當デアるか、或ハ六千圓以上ト云フコトガ適當デアるかト云フコトハ分リマセヌガ、相當衣食住ニ不足ノナイ恩給ヲ貰テ居ル人デアレバ、モウ少シ多ク此恩給金額ヲ停止スルコトニシテ見タラドウカ、サウ云フコトニシテ、一方恩給ノミデ生活ヲシテ居ル人ニ之

ヲ振向ケル、私等ノ聞ク所ニ依リマスルト、此恩給ト云フモノノ少イ人デアレバ、到底恩給ノミニ於テ生活ガ出來ナイト云フ者ガ多イノデアル、是ハモウ既ニ政府ニ於テモ御了知ノコトデアラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウニ少イ恩給者ニ之ヲ交付シテ、多額ノ恩給者ニハモウ少シ、二割ノモノヲ或ハ五割ト云フコトニ停止ヲ爲サルト云フコトガ、今日ノ社會政策上ニ於テモ至當デハナイカ、一方ニ於テハ二割ト云フコトハ恩給額ノ二割デアルカラ非常ニ不徹底デアル、而モ此金額ガ僅ニ二十五萬圓ト云フコトデアレバ殆ド、オヤリニナッタ一億何千萬圓ト云フ金ニ對シテ殆ド言譯ニ過ギナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、其點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(樋貝詮三君) 此點ニ付キマシテ私カラ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、此受恩給者デアツテ、而シテ其恩給ガ比較的多額デアル、而シテ其退職後ニ於ケル收入ガ、或ハ勤勞所得ニ依ル場合モアリマセウシ、或ハ勤勞所得ト區別ノ出來ナイヤウナ、他ノ、財産所得トデモ申シマセウカ、形ニ於テ財産所得ニ於テ現ハレテ参リマスヤウナ所得ト申シマセウカ、サウ云フヤウナモノノ多額ナ人ニ對シテハ、恩給ヲ少シ減ジ

テ、一方恩給ノミデ生活ヲシテ居ル人ニ之

タイ、減ズルト言フト寧口語弊ガアリマシテ、サウ云フヤウナ人ニハ寧口出來マスルコトナラバ恩給ヲ辭退シテ貰ヒタイ、一部分ノ人ニ……、サウ云フヤウナ空氣ガ可ナリアリマシテ、ソレヲドウ云フ形ニ現ハスカト云フコトハ大分問題デアリマセウケレドモ、此案ニ於キマシテハ、ソレヲ御覽ノ通りノ六千圓、收入ガ恩給ヲ加ヘマシテ六千圓ヲ超過シテ居ル場合ニ於テハ、其超過額ノ二割、併シ尙ホ之ニ付テハ二ツバカリノ制限ハアリマスケレドモ、サウ云フ程度ノ停止ヲ以テ相當ト實ハ考ヘテ居ル、サウシテ是ハ甚ダ微温的デハナイカ、モト全停止ヲシタラドウカ、或ハモト停止ノ程度ヲ下ゲテ、詰リ所得額ノ程度ヲ下ゲテ、全部停止スル場合ニ、半分トカ、三分ノ一トカ停止スルトカ云フヤウナコトモ聞キマシタシ、又他面ニ於キマシテハ斯ノ如キコトハ、斯ノ如キ停止ヲスルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フヤウナ御意見モ、此委員會ニ於キマシテモ、サウ云フ空氣ヲモ御聽キシタヤウナ譯デモアルシ、兩面ノ主張ガアリマスノデ、政府ト致シマシテ研究イタシマシタ所デハ、此程度ニ參ルノガ最モ穩當デアラウト云フコトヲ考ヘマシタ、全部停止セネバナラスト云フヤウナ理由ハ、是亦ナイノデゴ

ザイマス、先日總理大臣カラ恩給ノ性質ニ付テモ申上ゲマシタヤウナ譯デアリマスルガ、官吏ニシテモ、軍人ニ致シマシテモ、其在職中ハ專念其職務ニ從事スベキモノデ、アリ、而シテ又專念之ニ從事イタシマスレバ、個人ノ爲ニ將來ノ計ヲヤテ行クト云フコトモ出來マセヌシ致シマスヤウナ譯デ、又自分ノ將來ノ、官吏又ハ軍人ヲヤリマシタ後ノ所得ガ果シテサウ多額ノモノガ得ラレルカドウカト云フコトモ、初メニ分リマセヌカラ、全然ソレガ苟モ所得ガアレバ何レノ所得デア、テモ全部停止サレルノダト云フコトデアリマスレバ、非常ナ其處ニ不安ヲ生ジマスヤウナ譯デ、色ミナ事ヲ考慮イタシマス、全部停止モ無論穩當デナイト思ヒマスシ、又更ニ是ヨリ下ゲルト云フコトニナリマスレバ、又意味ヲ爲サナイ、斯ウ云フ制度デアリマスカラ、餘リニ何レニカ徹底シテ、サウシテ其處ニ後カラ矯正スベカラザル弊害ヲ殘スヨリカモ、寧口穩當ナ方法デ行クノガ國家ノ態度トシテハ相マシテ、斯ウ云フ程度ニ致シタ譯デアリマス、又外國ノ例ハ七八箇國調ベテ見マシタガ、之ニビッタリ當ル例ハ不幸ニシテ發見イタシマセヌ、或ハ地方團體ナドニアッタ

カモ存ジマセヌシ、又大戰當時非常時ニ於キマシテ、或ハサウ云フヤウナコトガ實行セラレタカモ存ジマセヌガ、今迄調べマシタ所デハ此例ニビッタリ當ルモノハゴザイマセヌ、唯恩給ガ一定ノ金額以上ニナッタ場合ニ於テハ、其金額ノ超過シタ部分ニ付テハ全部停止スルト云フヤウナコトヲ、非常時ニ當リマシテヤリマシタ例ハアルヤウニ記憶イタシテ居リマス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、是ハ色ミナ方面カラ考ヘマシテ、最モ妥當ト考ヘラルル程度ニ之ヲ執リマシタ次第デアリマス、不徹底ト申シマスレバ不徹底デアリマセウケレドモ、サウ云フ事情デアリマスカラ、從テ之ニ依ル財政上ノ結果ガ二十五萬圓、是モ全く見込デゴザイマシテ、此後ニドウ云フ風ニ受恩給者ニシテ所得ノ非常ニ殖エルモノガアルカナイカト云フヤウナコトハ、全ク確實ナ數字ハ見透シガ付キマセヌ、大雜把ニ色ナ點カラ推算イタシマス、サウ云フヤウナコトニナリハシナイカト云フ見込デ、成ハ是ヨリ増スカモ知レマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 普通恩給受給者年額別ト云フ表ヲ見マシテモ、合計ハ二十二萬五千餘リデ、一千圓以上ノ人ト云フモノハ其十分ノ一モナイ、一萬八千四百九十八人ト云フヤウナコトデアリマシテ、非常ニ其人數トシテモ少イモノデアル、又其金額ガ先刻申上ゲマシタ二十五萬圓内外ノモノデアレバ、我ミハ寧口斯ウ云フモノハ恩給ノ性質上カラ言ッテモ、一割停止スルト云フコトガナイ方ガ宜クハナイカト、斯ウ考ヘマシテ御尋ネシタヤウナ譯デアリマス、ソレデ外國ニ於テモサウ云フヤウナ例ガ餘リナイト云フコトノ御答辯デアリマスガ、何カ私今ハッキリ記憶ハセヌデアリマスガ、一時ノ矢張り其國ノ財政關係デアリマスガ、サウ云フコトヲ聞及ンダコトガアルノデアリマス、其以上ハ私申上ゲマセヌガ、モウ一遍伺ヒタイト思フノハ、此國家ノ恩給制度ト關聯イタシマシテ、我國ノ公共團體ニ於テノ恩給トカ、或ハ一時賜金ト云フヤウナモノノ、公吏ニ與ヘル慰勞金ト申シマスガ、額ガ非常ニ千差萬別ニナッテ居ル、隨分官吏ノ一時賜金トカ恩給トカ云フヤウナモノヨリハ、非常ニ率ガ良イト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマスルガ、此地方ノ公共團體ニ於テサウ云フヤウナ吏員ノ優遇ト云フ制度ニ付テハ、無論內務省トカ或ハ其他ニ於テ、其會ノ決議ヲ經テ認可ニナッテ居ルモノト思ヒマスガ、サウ云フノハ國家ノ恩給



制度ニ矢張り比例シテ、餘リ厚薄ノナイヤ  
ウナ程度ニ於テ御許シニナッテ居ルノデア  
リマスガ、サウ云フ點ヲ伺ヒタイノデアリ  
マス

○政府委員(編員詮三君) 地方ノ團體ノ恩

給ニ關スル制度ハ、判任官以上ノ待遇ヲ受  
ケマス者ニ付キマシテハ、恩給法デ律シテ  
居ルヤウナ次第アリマス、所謂待遇職員  
ト申シマシテ、恩給法ゾレ自體デ律シテ  
居リマスガ、内容ハ全然變リマセヌ、ソレ  
カラ其他ノ所謂吏員、待遇ヲ受ケナイ吏  
員ニ付キマシテハ、各自治團體ハ條例ヲ  
以テ、之ヲ只今御示シノ如クニヤルコトニ  
ナッテ居リマシテ、其條例ニ付キマシテハ  
内務大臣ハ一般行政ノ上カラ、又大藏大臣  
ハ財政ノ方カラ、是ガ監督ヲ致シテ居ル次  
第デアリマス、唯實情ヲ申上ゲマスト、大

正十二年ニ此恩給法、現行恩給法ヲ制定イ  
タシマスルマデハ、實ニ各府縣共ニ、各團  
體共ニ極メテ區ミデアリマシタ所ガ、大正十  
二年ニ恩給法ヲ改正統一イタシマシテ、國  
家ノ方ノ四十幾ツノ恩給ヲ統一シタ譯デア  
リマスガ、其當時ニ各府縣ノ主任官會議ト  
云フモノヲ開キマシテ、出テ參リマシタ人  
ニ模範ト申シマセウカ、基準ノ恩給……  
地方ノ恩給條例ノ案ト云フヤウナモノヲ

配布イタシマシテ、ソレヲ參考ニシテ統  
一シテ貰ヒタイト云フ譯デ、府縣ナドニ於  
キマスル恩給ニ關スル規定ハ、現行恩給法  
ノヤウニ非常ニ統一サレテ居リマス、唯自  
治團體デヤッテ居リマスルノニ付テハ、實ハ

ソコマデ手が延ビマセヌ爲ニ、目下如何ニ  
ナッテ居ルカト云フコトヲ、少數ノ自治團  
體ノハ手許ニアリマスケレドモ、調ベテモ  
見マシタケレドモ、全部ニ付テハ只今分リ  
兼ねテ居リマスカラ、或ハ非常ニ區々ニ  
ナッテ居ル所ガアルカモ存ジマセヌシ、又其  
裁定ナドニ致シマシテモ、是ハ國家デ統一  
シテ裁定スル譯ニ參リマセヌ、又法ノ改正  
ナドニ付キマシテハ無論統一ノ方法ニ依  
ル譯ニ參リマセヌカラ、從テ區々ニナッテ  
居ルカモ知レマセヌ、ソシナ事情デアリマ  
ス

○森平兵衛君 私ハ只今ノ御答ニ依ッテ、此

自治團體ノ總テ公吏ヲ待遇スルコトニ於テ  
モウ少シ政府ニ於テモ統一ノ監督トカ、  
御取締ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、現  
ニ此條給ニ於キマシテモ只今ノ官吏ト公吏  
ノ條給ノ程度ガ非常ニ差ガアルノデアリマ  
ス、一例ヲ申シマスレバ、總理大臣ノ條給  
ト殆下大都市ノ市長ノ條給ガドチラガ上カ  
ト云フト、大都市ノ市長アタリノ條給ノ方

ガ非常ニ上ニ居ル、是ハマア色ミノコトノ  
待遇ニ於テモ違ヒハシマスケレドモ、矢張  
リ國家ニ勤メル、或ハ其市町村ニ於テ勤メ  
ルト云フヤウナ公的ノ精神ト云フモノハ、

官吏モ公吏モチヨットモ變テ居ラナイ、茲ニ  
格段ノ差ガアルト云フコトハ非常ニ偏頗ナ  
コトニナリハシナイカト思フノデアリマ  
ス、ソレデ今回恩給法ヲ斯ノ如ク改正ニナ  
テ、國家ノ財政ヲ緩和セラルルト云フコト  
デアレバ、或町村ニ於キマスト、矢張り官  
吏モ公吏モ、或ハ退職慰勞金、或ハ恩給ノ  
爲ニ、財政的ニ困難シテ居ルモノガ事實ア  
ルノデアリマス、ソレヲ緩和サスト云フコ  
トガ、一方ノモノトノ非常ニ均衡ガ取レ  
ル、ソレヲ自治團體ト云フコトニ於テ監督  
モナサラズ、取締モナサラズニ抛ッテ置イ  
テ、官吏ナリ軍人ノ條給ダケヲ斯ウシテ減  
額ナサルト云フコトニナルト、益、私ハ官  
吏ト公吏トノ待遇ニ於テノ等差ガ出來ルト  
云フコトニナル、國家全體ノ上ニ於テ面白  
クナイト思フノデアリマス、是ハ法律的ニ  
於テドウ云フコトニ御取締ニナルカ、御監  
督ニナルカト云フコトハ分リマセヌガ、抽  
象的ニ申上ゲマスレバ、矢張り市町村ト云  
フモノハ内務大臣ガ直轄シテ、府縣知事ヲ  
經テ監督シテオイデニナルノデアリマスガ

ラ、サウ云フ點ハ監督ガ出來ナイト云フコ  
トハ私ハナイト思フ、監督權ヲ持ッテオイ  
デニナルナラ、矢張り公吏ト官吏ノ待遇ノ  
差ガ餘リ著シク付カナイヤウナ方法ヲ設ケ  
テ貰ヒタイト思ヒマス、是ハ只今直グソレ  
デハサウスルト云フ御辯明ハ出來マスマイ  
ガ、法制局長官ノ御所見ヲ一應伺ヒタイ

○政府委員(黒崎定三君) 私甚ダ地方自治

團體ノ關係ニ於キマシテハ暗イノデゴザイ  
マシテ、或ハ只今ノ御話ノ點、恩給關係、恩給  
法ノ基礎組織ニ付キマシテ、先程恩給局長カ  
ラ申上ゲマシタヤウニ、大正十二年ノ全部改  
正ニ依リマシテ、恩給制度ハ國家ノ恩給法  
自體ガ澤山ノ數ニナッテ出テ居リマシタモノ  
ガ、大體此統一ノ制度ガ出來マシテ以來、  
各地方團體モ此制度ニ順應シテ參ッテ居ルヤ  
ウナコトデアリマスルガ、ドウモ恩給……只  
今ノ御話ノ點ハ私デチヨット御答ヘ致シ兼  
ネルノデゴザイマシテ、御話ノ通り當局  
ノ……當局大臣ノ方ニモ能ク御趣旨ハオ傳  
ヘ申シテ置キマシテ、若シ御答辯デモ御入  
用ノ時ニハ其方カラ一ツ答辯ヲシテ戴クコ  
トニ致シタイ思ヒマス

○森平兵衛君 ドウカ、只今公共團體ノ恩

給其他ニ對シテノ待遇法ニ付テ、私ノ意見  
ヲ大臣或ハ内務省ノ政府委員ニ御話ヲ下



サツテ、適當ノ機會ニ御答ヲ煩ハシタイト  
思ヒマス、私は是デ質問ヲ打切ルコトニ致  
シマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ此前官吏ノ採用

ノコトニ付テ多少質問ヲ致シマシタノデス  
ガ、尙ホ此機會ニ重ネテ伺ヒタイデスガ、  
コンナニ恩給ヲ多クシマシタノハ採用ガ亂  
雜デアルト云フノデ、今ノ假ニ文官ヲ例ニ  
取ツテ言ヘバ、文官ノ養成ハ、マア帝大ノ  
法科トカ經濟科ト云フヤウナモノガ、文官  
ヲ作ルノデヤナクテ恩給受領者ヲ養成シテ  
居ルヤウナ譯デ、能ク事情ハ分リマセヌ  
ガ、是ハ陸海軍ニ付テモ多少サウ云フ傾キ  
ハアラウト思フ、モウ少シ採用ヲ嚴重ニシ  
テ、此間塚本君其他カラ御質問モアッタヤ  
ウニ、官吏ノ長ク在職セシメ、宜ク安心シ  
テ職ニ安ンゼシメルト云フコトヲシナケレ  
バ、是ハモウ恩給法ヲドウ變ヘテ見タ所デ、  
終ヒニハ仕方ガナイト思フ、詰リ恩給受領  
者バカリヲ作テ行クト云フ結果ニ過ギナ  
イ、此點ハ政府トシテハドウ云フ御考ヘ  
デセウカ

○政府委員(黑崎定三君) 只今ノ御話ノ點

ニ付キマシテハ、前回ニ塚本サンノ御質問  
モアッタヤウデアリマシテ、實際是レマデノ  
實情ヲ見マスト云フト相當恩給ニ關係、

恩給ノ増額ノ原因トナリマスル官吏、殊ニ  
文官ノ方面ニ於キマシテ在職年限ガ年金、  
恩給ニカカリマスルヤウナ時ニナリマスル  
ト罷メル、サウシテ又順順ニアトカラアト  
カラト補充サレテ行クト云フ狀況ハ、是ハ  
誠ニ御尤モデアリマシテ、サウ云フ狀況デ  
アツタコトハ是ハ否ム譯ニハ參ラスト思フ  
ノデアリマス、唯前ニ前法制局長官モ御答  
ヘ致シマシタト存ジマスルガ、一方ニ於キ  
マシテハ特別ナル關係ノナイ限り、官吏ノ  
在職ニ付キマシテハ、矢張り長ク其職ニ在  
職セシメテ置ク、恩給年限ニ達シタカラソ  
レハ罷メテ、次ノ者ヲ採用スルト云フヤウ  
ナ方法、方針ヲ執ルコトハ甚ダ、若シサウ  
云フ方針ヲ執ルトナリマスルト、ソレハ甚  
ダ面白クナイ、又宜シクナイコト考ヘラ  
レルノデアリマス、御承知ノ通り先達テ事  
務官系統ニ付キマシテハ、官吏ノ身分保障  
ニ關スル制度モ出來マシタ、其實績カラ見  
マスルト、實績ヲ將來ノ問題トシテ豫想シ  
テ見マスルト、從前色ミナ原因デ、色ミナ  
事情モ澤山ゴサイマシタラウト思ヒマスル  
ガ、或事情デ度ミ官吏ガ、若イ官吏ガ中ニ  
ハマダ恩給年限ニ達セザル者マデモ頻繁ニ  
更迭シタト云フヤウナコト、サウ云フ狀況  
ハ今後ハ非常ニ緩和サレテ參ルカト考ヘラ

レルノデアリマス、恩給ノ關係ト致シマシ  
テ、ドウモ十五年、若クハ今度ノ改正案ニ  
ナリマシテ十七年以上ノ、文官ナレバ十七  
年以上ノ在職デ以テ退職シマスレバ、恩給  
ヲ給與スルコトニナツテ居リマスガ、ソレ  
ノ故ヲ以テ、恩給給與ノ故ヲ以テ、ソレガ最  
大ノ原因トナリマシテ、此官吏、公務員ノ  
更迭ヲヤリマスルト云フヤウナ人事方面ハ、  
是ハ大イニ慎重ナケレバナラスト考ヘテ居  
ルノデアリマス、

○子爵大河内輝耕君 官吏ノ採用ヲ私

ハ……實ハ今ノ質問ハ官吏ノ採用デス、官  
吏ノ採用ヲ伺フタノデス、採用ニ付テ今  
ドシナ方針ニナツテ居リマセウカ、全體  
ノ二十分ノ一トカ、或ハ三十分ノ一トカ  
云フヤウナコトデモ御決メニナラナケレバ  
駄目ダト思フノデス、無方針ニドン／＼今  
ノヤウニ人カラ頼マレバ入レル、拒ムコ  
トハ出來ナイ所カラ言ツテ來レバ、ドウモ  
仕方ガナイカラ探ルト云フコトヲヤツテ  
居タノデハ駄目ダト思フ、ソレハ一ツ何カ  
相當制限スル必要ガアルト思ヒマスガ、何  
カサウ云フソレヲ制限スル方針デモアリマ  
スカ

○政府委員(黑崎定三君) 官吏ノ採用ニ付

キマシテ只今政府ノ方デドウ云フ方針ヲ、

若クハ標準ト云フモノガアルカト云フコト  
デアリマスルガ、實ハソレハ一方各省ノ仕  
事ノ關係デ、豫算ノ關係ニ連レマシテ、定  
員増加ノ方策ヲ執ツテ參リマスルガ、其範圍  
内ニ於キマシテ今度ハ、今年ハ大學ノ卒業  
者、若クハ高等試驗合格者ヲ、或ハ專門學  
校卒業者ヲドウ云フ風ニ、ドレダケノ人數  
ヲ採ルカト云フコトハ、是ハ各省ノ實際ノ  
需要ニ鑑ミマシテ、各省々々ガ決定イタシ  
テ居ルノデアリマス、尙ホ殊ニ高等試驗合  
格者ニ該當イタシマスルヤウナ有資格者ヲ  
採用スルニ付キマシテハ、是ハ將來ノ幹部  
候補生ノ、謂ハバ幹部候補生ノ趣旨ヲ以チマ  
シテ其補充ノ必要カラソレ／＼當該主務省  
ノ需要ヲ考ヘテ採用イタシテ居リマスノデ、  
最近ノ實情ニ依リマスルト其方面ハ一方豫  
算ノ關係モゴザイマシテ、甚ダ採用人員ガ  
少イヤウナ情況ノヤウニ聞イテ居ルノデゴ  
ザイマス、政府全般ト致シマシテ今後官吏  
採用ヲドウ云フ風ニ、或ハドウ云フ標準デ  
致シマスルト云フヤウナ標準ハ實ハゴザイマ  
セヌ

○子爵大河内輝耕君 此點ハ一ツ御研究ヲ  
願ヒタイト思ヒマス、詰リ官吏ノ採用ガ多  
過ギル爲ニ、折角官吏ニナツテモ仕事ヲシ  
ナイデ數年間遊ンデ居ル者ガアリマスシ、

○政府委員(黑崎定三君) 官吏ノ採用ニ付

キマシテ只今政府ノ方デドウ云フ方針ヲ、

○政府委員(黑崎定三君) 官吏ノ採用ニ付

キマシテ只今政府ノ方デドウ云フ方針ヲ、

或ハ僅カノ仕事ヲシテ不平バカリ言フテ暮シテ居ルノモアルノデスカラ、サウ云フ者ヲ探ッテ行クト云フコトハ、土臺話ガ間違ッテ居ルノデ、唯俸給ヲ損フシテ居ルダケノ話ニナリマス、俸給ダケノ損ダカラ宜イト云フヤウナ御話ナラバ格別デスガ、サウ云フモノデヤナカラウト思ヒマス、併シ今政府ノ御答ニ依ルト、サウ云フ標準ト云フモノハナイト云フコトデアリマスカラ、何トカ是ハ將來御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ一點伺ヒマスガ、此前一條公爵カラ御尋ネノ時ニ、恩給ノ本質如何ト云フ質問ガアッタノデアリマス、所ガ恩給ハ官吏ニ安ンジテ奉職セシメル爲ナリト云フ御答デアッタノデアリマスガ、ソレハ恩給ヲヤル動機ガソレナノデ、恩給ノ本質論デハナイノデ、ソレニ對スル御答ハナイノデスガ、ソレニ付テハ色ニ學者モ言フテ居リマスカラ、御答モ御困リデアラウト思フノデスガ、併シ制度ノ上カラ言フテ、ソレニ付テ政府ガドウ思フテ居ルノダト云フヤウナコト位ハ、明カニシテ置カナケレバナルマイト思フノデス、假ニ私、自分ノ前ニ政府委員カラ伺ッタ所カラ何シテ考ヘテ見マス、是ハ矢張り俸給デモ恩給デモ同ジコトデ、詰リ相當ノ生活ヲサシテ安心シテ

職務ニ就カセルト云フ意味デ、俸給トシテハ現職ニアリマスカラ現職ニ伴ッテヤルノデ、官吏ヲ罷メタカラト言フテ急ニ困ルヤウニスルコトハ出来ナイシ、サウカト言フテ官吏ノ中デ、今森君カラ話ガアリマシタヤウニ、奉職中ニ數萬圓ノ金ヲ、月給ヲ貰フテ金ヲ作ルト云フヤウナコトハ思ヒモ依ラヌノデ、恩給ハ寧ロソレハ俸給ノ延長ト云フヤウナモノデ性質ハ同ジヤウニ考ヘテ宜カラウト思フ、仕事ガアルト無イトハ別ノ話デ、僅カナ俸給ヲ貰フテ居ルカラ、在職中ニ貰フテ居ルカラ、ソレガ引續イテ恩給ニナッテ行クト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ萬事取扱ッテ行ッテ宜カラウト思フノデスガ、如何ナモノデセウカ

○政府委員(黒崎定三君) 御答ヘ致シマス、只今ノ御話シニナリマシタ點ハ、大體私達モ其御説ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵井上清純君 今ノ大河内サンノ御質問ニ、關聯シタ事柄デアリマスカラ御伺ヒスルノデアリマスケレドモ、官吏ノ大體ノ奉職年限ハマア二十年前後デアラウト思フノデス、長クテモ二十年前後デアラウト思ヒマス、學校ニ居ル間ハ二十四五年、サウシテソレデ養成サレタ人ガ、官吏トシテ國家

ニ奉職スルノガ二十年デ、モウ既ニ恩給ヲ得タ所デ老衰シナケレバナラス、隱居シナケレバナラスト云フヤウナノガ、今ノ大體ノ有様ノヤウニ思フノデアリマス、甚ダ是ハ國家ハ不經濟ナコトヲヤッテ居ルノデアリマシテ、此點ニ付テハ總理大臣アタリカラ根本的ニ伺ハナケレバナラス問題デアリマスケレドモ、將來ハ一ツ此點ニ付テ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイ、餘リ進ムルコトナクシテ職務手當ト云フヤウナコトヲ以テ此缺陷ヲ補フコトガ出来ルト思ヒマス、餘リ高官ニ進メマシテ、ソレハ飾ヒ捨テナクテハナラスコトニナリマスカラ、或人ハ同ジ職ニ留メテ置イテ、サウシテ別ニ職務手當ヲ與ヘルト云フヤウナ方式ヲ採ルト云フヤウナコトモ一ツノ方法デヤナイカト思ヒマス、餘程國家ハ無駄ナコトヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、十分ニ御勘考ヲ願ヒタイモノデアル、ソレカラ此恩給改正法案ガ決リマスト早速……先程森君カラノ御質問ガアリマシタガ、現在ノ官吏ノ中ニ於テ、既ニモウ恩給年限ニ達シテ居ルモノハ、本年ノ十月以前ニ於テモウ退官スルコトヲ考ヘテ居ルモノガ多分アルヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、サウスルト折角恩給額ヲ減サウトシテ考ヘラレタコトガ、ソレハ遠キ十

年トカ十五年先ニ結果ガ現ハレルコトデアリマスガ、其方法ヲ講ゼラレムトスル時ニ、此非常時デアッテ非常ニ金ガ要ル際ニ、甚ダ多額ノ恩給ヲ取ル人ガ一時ニ澤山出ルト云フヤウナコトニナリヤシナイカト思フノデアリマス、同ジ罷メルナラバ一年前ニ罷メテモ多額ノ恩給ヲ戴イタ方が宜イノデアリマスカラ、來年罷メル人ハ今年ノ九月頃ニ罷メタノガ一番其人ニ取ッテハ利益デアリマスルカラ、澤山ノ人ハ高官ノ人デ罷メル人ガ多カラウト思フノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フヤウナコトハ、防グコトハ出来マセヌガ、併シ今御話ガアッタ官吏ノ身分保障法デアリマス、是ハ既ニ實施サレテ居ルノデアリマスガ、ドンナコトヲ實施サレテ居ルノカ、私ハ分リマセヌケレドモ、恐ラクハ今度才前ハ罷メロト一度言ハレタ時ニ、其人ガ若シモ不服デアッタ場合ニ其保障法ニ依ッテ會議ヲ開イテ貰フ、其會議ニ依ッテ一ツモウ少シ在官年限ヲ延シテ貰フトカ云フヤウナコトヲ決メラレルノデアリマスケレドモ、既ニモウ上官カラ才前ハ罷メテ貰ヒタイト云フノニ、サウ云フ會議ニ於テマダ居ルコトヲ許サレテモ、其職ニ居ルコトハ到底實際問題トシテハ出来ルモノデハナイト思フノデアリマス、官吏身分保

障法ナンテモノハ本當ノ形式デアリマシテ、

何等實際ハ效果ヲ現ハサヌモノデアラウト

想像スルノデアリマス、私ハ今、官吏デア

リマセヌカラ分リマセヌガ、想像ガ出來ル

ノデアリマス、ソレデ折角ノ御考デアリマ

スケレドモ、矢張り内閣ノ更迭トカ何トカ

云フ場合ニ於テハ、以前ノ通り巡查ノ末迄

モ殘ラズ交替スルモノト私達ハ考ヘナケレ

バナラヌノデアリマシテ、此狀況ヲ其儘ニ

シテドウシテモ恩給増額ノ傾向ヲ止メルコ

トハ、現在ノ制度ニ於テハ全然不可能ナモ

ノダト私共ハ考ヘルノデアル、之ニ對シテ

御所見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(黑崎定三君) 御尋ネガアリマ

シタ中ノ一ツトシテ、現在ノ恩給法ヲ改正

イタシマスレバ、今回ノ此改正案ガ通過イタ

シマシテ實施サレルトナリマス、其實施前

ニ退職イタシマシタ方ガ、改正恩給法實施

後ニ退職イタシマスヨリハ利益デ、金額ニ於

テモ利益デアルト云フコトハ御尤モデゴザイ

マス、但シソレガ爲ニ、或ハ中ニハドウセモ

ウ罷メルノダカラ恩給法實施前ニ罷メタ方

ガ宜イト云フヤウナ、サウ云フ打算のナ考ヘ

カラ退職ヲ願出ナイモノガナイトハ限リマセ

ヌガ、併シ其結果サウ云フマア打算のナモノ

ガアルト云フコトデ、非常ニ大部分ノモノ

ガサウ云フコトニナツテ、結局改正恩給法

デ企圖シテ居ル所ガ、此現在ノ恩給制度ニ

於テ、既ニ恩給年限ニ達シタト云フコトニ

付テ非常ニ多クノモノニ、サウ云フ現象ガ

現ハレルカドウカ、是ハマア見方ノ問題デ

ハアリマスガ、餘リ多クハナイノデハナイ

カト考ヘテ居リマス、無論改正恩給法施行

前ニ罷メタ方ガ得ダト云フ考ヘカラ辭メル

者ガナイトハ限リマセヌガ、サウ多クハナ

イデハナカラウカト考ヘテ居リマス、ソレ

ハ恩給ヲ貰ヒマシテモ恩給金額ハ成程現行

恩給法デ貰ヒマスル金額ノ方ガ、改正法ニ

依ツテ貰ヒマスル恩給額ヨリハ大キイコト

ハ是ハ事實デゴザイマスガ、併シ退職シナ

ケレバナライヤウナ事情ナキニ拘ラズ、

恩給ヲ貰フ爲ニ罷メルト云フコトニナリマ

スルト幾ラ斯ウ打算のニ考ヘテ見テモ、矢

張り俸給ノ百五十分ノ一ガ恩給金額ニナッ

テ參ルノデゴザイマスカラ、俸給ヲ貰テ

又退職ヲ許サレタノデ在職シテ居ル方ガ寧

ロ全額貰テ居ルノデゴザイマスカラ、極ク

特別ナ場合デナイ限りハサウ云フ退職ノ希

望者ハ、多クハ出テ參ラナイカト考ヘテ居

リマス、ソレカラ身分保障ノ關係ニ付キマ

シテ、是ハ身分保障ニ關シマスル文官分限

令ノ改正ガゴザイマシテカラ今日マデ、總

テ官廳事務ノ都合ニ依リマスル休職ノ件

ハ、本人ノ同意ナクシテハ分限委員會ノ議

ヲ經ナケレバ出來ナイコトニナリマシテ、

今日マデ高等官ニ付キマシテハ一人モ、此

分限委員會ノ議ヲ經タモノノ實例ハ無イノ

デゴザイマス、判任官ニ付キマシテハ是ハ

私實ハ是マデ各省ノ間ノ分限委員ヲヤッテ

居リマシタ其經驗カラ申シマスルト、二人

デゴザイマシタ、ソレ以外ハマダゴザイマ

セヌ、相當此身分保障ノ結果ハ餘リニ、今

迄官廳事務ノ都合ニ依リ休職トシテ居リマ

シタ其適用ガ事實ノ上デハ、結果ノ上ニ於

キマシテハ非常ニ數ハ少クナツテ居リマス、

御話ガアリマシタヤウニ上官ガ一ツ罷メタ

ラドウカト云フコトヲ申シマシテ、本人ガ

イヤダト言フト、後ノ處分或ハ執務ノ上デ

甚ダ面白クナイカラ、結局罷メルトデヤナ

イカ、マア今ノ色ミナ其處ノ何ト言ヒマス

カ、政黨的ト云フヤウナ意味合デナク、普

通ノ官吏ノ事務官ニ付キマシテ考ヘテ見マ

シテ、上官カラサウ云フ諭告若クハ諭示ガ

アツタ時ニハ、其處ニ仕ヘテ居ル者ハソレ

ニ反對スルコトハ甚ダ面白クナイ、反對シ

テ見テ身分保障ヲサレテ見マシテモ、職務

遂行ノ上ニ面白クナイカラ結局ハ承知シテ

行クノデハナイカト云フ御懸念モゴザイマ

シタ、併シ他方カラ考ヘテ見マスレバ、矢

張り理由ナシニ若シ上官ノ諭告若クハ諭示

ガアリマシテモ、本人ガソレニ應諾イタシ

マセヌ、併ナガラ尙ホ休職ノ處分ヲ致シタ

イト思ヒマスル時ニハ、是ハ上官カラ勢ヒ

分限委員會ノ議ニカケナケレバナラヌコト

ニナリマス、若シ分限委員會ニ於キマシ

テ、正當ナルヤ否ヤト云フコトヲ慎重考慮

シタ結果、休職ヲ命ズルコトガ適當デアル

ト云フ結論ニ到達イタシマスルナラバ、ソ

レハ仕方ガゴザイマセヌガ、サウデナイ時

ニハ矢張り斯ノ如キ原因ヲ造リマシタ上官

ハ、若シ分限委員會ニ於キマシテ、其理由

ヲ認メラレナカッタ結果ハ、是ハ甚シキ面目

ヲ失墜スルコトナリマス、矢張り上官トシ

テノ職務遂行ノ上カラ申シマシテモ、餘程

慎重ニ考慮サレテ、人事行政ノ上カラ申シマ

スレバ、身分權ヲ持テ居リマスル上官ガ非

常ニ慎重ナ考慮ヲ以チマシテ、サウシテ人事

行政ヲスル、斯ウ云フ結果ガ出テ參ルモノデ

アラウト考ヘテ居リマス、矢張り相當ナ所

期ノ效果ハ身分保障ノ結果ニ於テハ現ハレ

テ來ルモノデハナカラウカト考ヘテ居リマ

ス

○塚本清治君 當局デチヨット御調ヲ願ヒ

タイノデゴザイマスガ、外國デ近時恩給額

ガ歳計ノ幾分ニ當ルカ、其比、「パーセンテージ」、ソレヲ御調ヲ願ヒタイ、日本ト比較シテ見タイ、ソレカラ文武官就中文官ノ近年ノ累進、累増、累加ト申シマスカ、其近年ノ文官恩給ノ額、ソレハ英、佛、獨、亞米利加アタリニ付テ調ベテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ御示シガアツタ通り、此間モ申上ゲマシタ如ク、外國デハ六十歳未満ハ眞ニ、本當ノ病氣、職ニ堪ヘズト云フ例外ノ場合ニ於テノ恩給ヲ給スルコトニナツテ居リマス、或國デハモウ六十歳未満ノ時ハ病氣ノ時デモ尙ホ恩給ヲヤラス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、所ガサウ云フコトハ日本デハ出來ナイト云フ政府委員ノ御説明、サウ云フコトヲセムスルナラバ、非常ナ巨額ノ費用ヲ投ジテ大規模ノ調査機關デモ設ケテ、其病氣診斷ノ何ト云ヒマスカ、調べルノデナケレバ行ハレナイカノヤウナ御説明ト承ハリマシタ、然ラバ外國ガ今申シタ如クヤツテ居ルノニ、外國ニ果シテ左様ナコトノ制度ガアルノデスカ、アリトスレバ承ハリタイ、無イトスレバ外國ニナクテ日本ダケガサウ云フコトニシナケレバナラナイ、其區別ノ理由ヲ承ハリタイ、外國ハ巨額ノ費用ヲ投ジ、大規模ノ調査機關ヲ以テ調べヌデモ、今ノ病氣ノ嘘ガ行ハレナイデ、

日本ダケニ行ハレルノハドノ邊デ、ドウ云フ事情デアラウカ承ハリタイ、若シサウ云フコトガ出來ルナラバ困ツタコトニナリマス、ソレカラモウ一ツ細カイコトデスカ、警察官ガ朝鮮ノ國境ニ勤務シテ居ッテ、所謂邊鄙ナ國境線ニ於キマシテ、匪賊ナドノ襲撃ニ遭ツテ職ニ斃レタ、或ハ又臺灣ナドノ蕃賊ノ鎮壓ニ從事シテ殉職スルト云フ場合、或ハ内地ニ在ッテモ近時不幸ニシテ瀕タト行ハレル共產黨ノ捕縛ニ向ツタ時ニモ、或ハ防彈「チョッキ」ヲ身ニ著ケテ行カナケレバナラヌヤウナ危險ニ曝サレ、圖ラズモ又不幸ニシテ殉職スルト云フヤウナモノガアルノデスカ、アア云フ警察官ハ軍人ガ戰陣ニ臨ンデ身命ヲ捧ゲ君國ノ爲ニ盡スト云フノニアア比シテ近イ、國家ノ爲ノ働キト認メラレルノデスカ、サウ云フ警察官ニ對シテハ軍人同様ノ場合ニ於ケル恩給ノヤウナ優遇ハアルノデスカ、マダ其調ベハ出來テ居リマセヌデスカ、御答ヲ願ヘレバ幸ヒデゴザイマス

○子爵東園基光君 チョット簡單デゴザイマスガ……先日委員會ノ初メノ時ニモチヨット唯御説明ノ時ニ申上ゲタ、茲ニ參考書ニ掲ゲテアリマス色々御説明ヲ拜見シマスト、結局恩給ノ騰勢ヲ停ムルト云フコトガ目的ニナツテ居リマスガ、ソレハ十五年ノ後ニハ停メル計算ニナル、斯ウ云フ御説明ヲ戴イテ其中ヲ拜見イタシマス、例ヘバ國庫納金ハ四年後ニハ三百四十萬圓ニ達スル云々、國庫納金ノ方ハ此方ノ規定ニ依リマスト、新任又ハ昇給ノ場合、斯ウ云フコトニナツテ居ル、サウスルト四年後ノ間ニ於ケル新任又ハ昇給ノ數カ何カガ基礎ニナツテ、斯ウ云フ御計算ガ出テ居ルノドラウト思ヒマスシ、其以外ニ他ノ整理ニ依ル減額、年額百八十萬圓云々、是ハ唯單純ニ拜見シマスト、成程警察官ハ十五年後ニハ停止ニナルコトト存ジマスガ、計算ノ數ノ基礎ガチョット是ダケデハ分リマセヌガ、非常ニ是ハ御困難ナコトモゴザイマセウト思ヒマスガ、今少し分ル程度ニ、十五年ニ至ッテ成程騰勢ガ停マリマスヤウナ……急ギマセヌケレドモ、出來タナラバ大變腹ノ力ガ付クト思ヒマス、併セテ御願ヒ致シテ置キマス

○政府委員(總員詮三君) 只今塚本委員カラ御要求ノ材料デゴザイマスガ、第一ノ外國ノ近時ノ恩給ト云フモノハ、歳計ノ何分ト云フモノニ當ルカト云フ調ベデゴザイマスガ、是ハ先日井上男爵カラト存ジテ居リマシタガ、ドウナツテ居ルカト云フ御尋ガゴザイマシタ、此外國ノ恩給、是ハ數年調ベテ見マシタケレドモ、外國ノ恩給ト云フ中ニハ丁度官公吏モ、軍人ノ恩給ノヤウナモノハ外ニ御承知ノ「オールドペンション」ナドモ含ンデ居ルモノモアリマス、ソレデドノ程度マデガ丁度日本ノ恩給ニ當ルモノヲ含ンデ居ルノカト云フノガ甚ダ不明デゴザイマシテ、此處ニ材料ハアリマスケレドモ、其材料ヲ如何ニ置クベキカト云フコトニ付テ分リマセヌノデ、大藏當局ニモ尋ネ、ソレカラ外務當局ニ付テ大使館アタリニモ聞合セテ調ベテ貰タノデゴザイマスガ、ドウシテモソレハハッキリ分リマセヌ、此間申上ゲマシタガ、英國ノ例ヘバ千九百三十一年ニ於ケル軍人ノ恩給ガ當時ノ豫算ニ對シテ何「パーセント」ニ當ルカ、是ハ五「パーセント」ニ當ツテ居リマスガ、サウ云フヤウナ部分的ナコトナラバ分ルノモアリマスケレドモ、全般トシテハチヨット分リ兼ねマシテ、尙ホ引續イテ是ハ是非調ベタイト思ッテ居リマスケレドモ、ソナナ事情デゴザイマスカラ急ニ實ハ出來テ參リマセヌノデ、同様ニ外國ノ文官恩給ノ近年ノ累加額ト云フモノモ今申上ゲタ譯デシツカリト分リマセヌ、ソレカラ第三ノ六十歳未満ノ者デ病氣ト言ヒ立テテ恩給ニナツテ居ル者

ノ其調査ハ、外國ニ於ケル實情ハドウナッ  
テ居ルカ、先日申上ゲマシタヤウニ大規模  
ナ調査機關ガナクテモヤッテ居ルノデハナ  
イカ、又可ナリ大キナ機關ヲ持ッタト云フ  
ヤウナコトガ書イテアル書物ナドガアリマ  
スガ、仰セノ機關ナドハアリマセヌノデ、  
ドノ程度ノ機關ヲ持ッテ居ルカト云フコト  
モ分リマセヌシ、ソレカラ其結果ガ斯ウ云  
フヤウナモノヲ數字ニ現ハシマス場合ニハ  
嘘ノ診斷書デ以テ片付イタト云フヤウナコ  
トガ分リマセヌカラ、向フノ方ヘデモ行ッ  
者カラ傳聞ノニデモ聞クヨリ外ニハ仕方ガ  
ナイダラウト思ッテ居リマスノデ、差當リ

此調査ハチヨットムツカシクテ出來ナイカ  
ト思ッテ居リマス、暇ヲカケタラドウカト  
思ヒマスケレドモ……ソレカラ警察官ガ朝  
鮮國境アタリデ匪賊ニ斃レタ場合、ソレカ  
ラ臺灣ノ匪賊討伐ニ行ッテ斃レタ場合ナド  
ニ、ソレニ對スル恩給ハドウナッテ居ルカ、  
軍人ノ同様ナ場合ト比ベドウナッテ居ル  
カト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ大正十  
二年以來實際最近ニ於キマシテモ、警察官

ガ「ギヤング」逮捕ニ行クヤウナ場合ニ鐵砲  
デ撃タレル、ソレカラ又朝鮮國境アタリニ  
於テハ、盛ニ爆彈モ機關銃モ持ッテ居リマ  
スガ、ソレヲヤラレルコトヲ豫期イタシマ

シテ、撃レルコトヲ覺悟ノ上デ參リマスコ  
トハ、全ク戰爭トチットモ違ハナイノデ  
アリマス、サウ云フ者ニ對シマシテハ今日  
ノ恩給法デモ是ハ戰爭ニ行ッテ怪我ヲ致シ  
タヤウナ者ト同ジヤウナ給與ヲ致シテ居リ  
マス、斯ウ云フ譯デ材料ニ付キマシテハ甚  
ダドウモ申譯ゴザイマセヌガ、サウ云フ事  
情デ急ノ間ニ合ヒマセヌガ、惡シカラズ御  
諒承ヲ願ヒタイ

○塚本清治君 今ノ共產黨ニ向ッテ捕縛ニ  
望ムト云フ、防彈「チョッキ」ヲ著テ行クト  
云フヤウナ場合デモ、相當手厚イ給與ガア  
リマスカ

○政府委員(總員詮三君) アリマス、現在  
ノ恩給法デ戰鬪又ハ戰鬪ニ準ズベキ公務ニ  
依ッテ斃レタ場合云々ト云フ規定ニナッテ居  
リマシテ、ソレハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトア  
リ、其勅令ノ中ニハ兇賊逮捕ト云フヤウナ  
言葉ヲ使ッテ居リマスカラ、「ギヤング」ハ兇  
賊逮捕ト云フ言葉ニ含メ得ララウト思ヒ  
マス

ヲ……外國デドレダケノ程度ノ調査、ド  
レダケノ費用ヲ要スルニ過ギナイデ今ノ  
病氣ノ眞否ヲ確實ニスルト云フコトガ出來  
ル、或程度デ出來ルト云フコトナラバ、  
日本モ學ブベキデアルガ、其調査ヲシナイ  
デ、日本ハ困ルカラ病氣デナクテモ宜イコ  
トニシヤウト云フ決定ハ、私ハ聊カ早過ギ  
ルコトト思ヒマスカラ、外國ノ調べノナイ  
コトハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ少シ大キナ問題  
デゴザイマスガ、伺ヒタイノデスガ、實ハ  
總理大臣ヤ大藏大臣ニモ出來タラ御相談ノ  
上デ御答ヲ願ヒタイ、二三年ノ將來ニ行政  
整理ガ來ルコト、是ハモウ爭ヘナイ事實デ  
サウ云フ場合ニ急ニ三千萬圓ナリ五千萬圓  
或ハ一億ノ金ヲ減ラスト云ッテモ出來ルモ  
ノデヤナイ、其結果恩給ハ非常ニ殖エル、  
ソレヲ早ク方針ヲ御定メニナッテ、例ヘバ  
大藏省ナラ大藏省デ、是レノ役所ダケ  
ハ整理シヤウト云フコトニ今カラ定メテ置  
イテ、ソウシテソレダケノ將來ノ其處ノ採  
用ハ見合ハセルト云フヤウナ方針デオヤリ  
ニナッタラ、一度ニヤルノニ比シテ恩給ナド  
ノ増加ハ餘程緩和サレヤウカト思フ、サウ  
シテドウシテモ早ク其方法ヲ……ドウセ、  
モウアルニ定ッテ居ルノデスカラ、早く御定

メニナッテ御置キニナル必要ガアルダラウ  
ト思フ、是ハ政府ノ方針トシテ私ハ承ハリ  
タイ、別ニ……此處ニ總理大臣ナリ大藏大  
臣ガ來テ戴ケバ結構デスガ、ソナコトハ  
御忙シイノデスカラ要求イタシマセヌ、御  
相談ノ上デ御答ヘ下サレバ結構デアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 淺田男爵ノ御  
質問ニ對シテハ恩給局長ト陸海軍ノ當局ト  
能ク御相談ヲ願ヒマシテ、明日御答辯ヲ願  
ヒタウゴザイマス

○織田萬君 私ハ塚本君ノ御要求ト關聯シ  
テチヨット私ノ用件ヲ述ベタイト思ヒマス  
ガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 宜シウゴザイ  
マス

○織田萬君 私ハ塚本君ト同ジヤウナ考ヘ  
ヲ持ッテ居ル、他ノ方面カラ申述ベマシタコ  
トハ前回ノ話デ御承知ダラウト思ヒマスガ  
現行法ガ、舊法ノ年齡ニ關スル條件ト退職  
ノ理由ニ關スル條件ヲ一ツトモ去ッテシマ  
タト云フコトガ間違ヒデアッテ、若シ六十歳  
前ニ自己ノ都合ニ依ッテ……在職十五年以  
上デアッテ六十歳以前ノ者ガ自己ノ都合デ  
罷メタ場合ニハ、六十歳マデ假ニ恩給ヲ停  
止スルト云フコトニシタナラバ、病氣ヲ偽  
ハルト云フヤウナ弊モ多分殆ド無クナリハ

シナイカト云フ考ヘモアリマス、而シテ若シ假ニサウ云フ制度ヲ採ツタトスレバ、其現在ノ官場ノ状態モ基トシテ、恩給支給額ニドレダケノ浮キガ出ルカト云フヤウナコトヲ御當リニナツタコトガアレバ結構デスガ、若シ御當リニナツテ居ナイノデアッテ、サウシテ其計算ガ左程……概算ノコトデスケレドモ、困難デナイノナラバ、チヨット其計算ヲ御當リニナツテ戴キタイト思フノデス

○政府委員(樋貝詮三君) 今ノ其程度ヲ具體的ニ調ベルコトト致シマス、大正十二年マデノ分ハ、大體病氣ニ因ッテ退職シタ者、其他官廳事務ノ都合デ退職シタ者ノ調ベハ出来テ居リマスガ……是ハ大體ノ推定デゴザイマスガ、其後ノ分ニ付キマシテハ全部ノ恩給受給者ノ證書ヲ全部調べナケレバナリマセヌカラ、先ヅ恩給局ノ局員全部ヲ動員シマシテモ一年半カ二年カカル調ベニナルヤウデアリマスカラ、甚ダ相濟ミマセヌデスケレドモ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ明十七日ハ午後一時ニ開會イタシマス  
午後零時十一分散會  
出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵溝口 直亮君  
副委員長 男爵井上 清純君

委員

- 公爵一條 實孝君  
子爵大河内輝耕君  
子爵伊東二郎丸君  
子爵東園 基光君  
佐藤 三吉君  
眞野 文二君  
織田 萬君  
塚本 清治君  
男爵淺田 良逸君  
男爵渡邊 修二君  
今井 五介君  
森 平兵衛君

國務大臣

- 大藏大臣 高橋 是清君

政府委員

- 法制局長官 黑崎 定三君  
内閣恩給局長 樋貝 詮三君